

【大規模開発行為届出書に添付する図書及び図面作成要領(要綱第7条関係)】

大規模開発行為届出書に添付する図書及び図面作成要領
事業計画の概要については、下記について簡潔に要領よく記載すること。

(事業計画 太陽光発電の場合の記載例)

1 開発の背景

- (1) 事業の名称 (※他法令等の申請にも使用している事業名を記載する。)

記載例：(仮称) ○○○太陽光発電所、○○○メガソーラー等

- (2) 事業者 (会社定款を添付のこと。) 及び工事施工者の住所氏名

開発行為者：所在地、会社名、代表者職氏名 (会社登記簿、定款、会社印鑑証明)

施工会社：所在地、会社名、代表者職氏名

※施工会社が連帯保証人になる場合は、次の資料と添付すること。

- ①会社登記簿、②定款、③会社印鑑証明、④太陽光関連の施工実績、⑤決算報告書、
⑥その他(会社の概要がわかるもの)

- (3) 開発位置、開発用途

①開発位置 宮城県○○郡○○町○○字○○番○○号

②開発用途 太陽光発電施設の建設、太陽光発電所用地の造成など

- (4) 開発区域の用途面積 (下表による。)

地 目	面積 (㎡)	比率 (%)
山 林		
田		
○ ○		
○ ○		
計		

※注意事項：地目毎の求積図、求積表等、確認できる資料を添付すること。

合計面積は、事業区域の面積と同じとなること。

- (5) 開発区域の自然的、社会的環境

①地形 (標高、地形、土地利用状況：森林、牧草地、田畑等)、地質 (主として土木工事施工上から記載すること。基岩の地質：例えば、第三紀層砂岩・粘板岩、泥岩等、軟岩、硬岩、粘土、シルト等、土壌等を記載)

②降雨量 (年間平均、観測地点)

③自然植生の現況 (自然植生群落の状況、植生樹種、草地、植生規模等)

- (6) 他の法令による制限の有無 (法令名、制限内容、許認可の状況)

別紙を作成する場合は、「関係法令手続き状況一覧表」のとおりとして記載すること。

- (7) 開発計画の大要について (市町村地域開発計画との関連、市町村行政との調整、地域住民福祉に対する貢献度の観点から記載すること。)

地元市町村との調整している状況を記載すること。

- ・防災調整池に係る放流同意関係、
- ・市町村管理施設との調整状況（上水道、道路、ため池、法定外公共物の使用等）
- ・市町村の開発行為指導要綱等の協議状況（地元説明会の実施状況等含む。）
- ・開発地周辺の市町村実施事業との調整状況

(8) 既設又は計画されている公共事業との関連について（道路、上下水道、その他について記載すること。）

2 開発計画の内容

(1) 開発計画の基本方針

○当該開発計画の特徴や自然環境、防災施設等について配慮した事項等を記載すること。

(2) 土地利用計画（下表による。）

地目	面積 (㎡)	比率 (%)
自然緑地		
造成緑地		
建物緑地		
○ ○		
計		

(3) 土地の権利の種類及び取得の状況（下表による。）

所在地				地目	面積 (㎡)	権利の種類、取得の状況	所有者名
市町村	大字	字	地番				

※事業区域に係る地番が多い場合は、別紙のとおりとすることも可能。

(4) 施設計画

利用者計画人口、利用施設数（用途別に例えば、独立住宅○○戸、共同住宅○○戸）建築物の内容（建築物の用途、配置計画、高さ、階数、建ぺい率、容積率、建築面積等）、工作物の内容（工作物の用途、構造、高さ、長さ、面積等）について記載すること。

○太陽光発電所の建設をする場合は、発電施設の規模を記載すること。

- ①設置する施設：太陽光発電設備、変電設備、
- ②事業区域面積、開発面積、パネル枚数、発電能力(kw)、管理道路 (W= m、 L= m)
防災調整池（調整池総容量（流出抑制容量、堆積土砂量）

(5) 造成計画

切土、盛土の量（道路を除く。）、切土、盛土の高さ、勾配、法面保護（擁壁、芝張り等）について記載すること。（ゴルフ場開発の場合には、コースごとの土工量計算書を添付のこと。）

- ①総切土量 ㎡、最大切取高 m、切土法面勾配 1 : ○. ○
- ②総盛土量 ㎡、最大盛土高 m、盛土法面勾配 1 : ○. ○

- ③残土、不足土（計算式を記載し、残土及び不足土の処理方法を記載すること。）
- ④切土法面の施工方法（法高毎の小段の設置等）、法面保護工の種類・内容
- ⑤盛土法面の施工方法（法高毎の小段の設置等）、法面保護工の種類・内容
- ⑥太陽光パネル設置箇所の造成面の土砂流出対策を記載すること。

(6) 防災計画

がけ崩れ、土砂流出、地すべり、出水、火災等に対処するため、地盤改良、擁壁、水路、消火設備等の防災施設計画及び施設の管理計画について記載すること。

- ①防災施設擁壁や防災調整池の配置及び管理計画（堆積土砂の浚渫計画等）に関すること。
- ②定期巡視計画（通常＋異常気象時）
- ③盛土工の施工方法（湧水対策、締固め）
- ④場内の排水計画
- ⑤造成工事中の災害防止対策（土砂流出や濁水の防止、施工中の沈砂池の容量）
- ⑥太陽光発電所及びの消火設備

(7) 道路計画

道路位置、道路構造、道路幅員、最大縦断勾配、最小曲線半径、切土及び盛土量、法面の勾配及び最大法長、ガードレール、公道との取付及び道路の管理計画について記載すること。

出入口となる国道や市町村道の名称及び事業区域内に設置する道路計画を記入してください。

- ①取付位置、②延長、③幅員、④道路勾配、⑤道路構造（舗装・敷砂利の種別及びその厚さ）

(8) 雨水排水計画

計画雨水量、排除方式、排水施設（調整池の個数、容量、排水管の材質、管径、長さ、暗渠、開渠の別、集水桝、側溝、沈砂池の個数及び容量、マンホール等の位置、構造）について記載すること。（排水計算書を添付すること。）また、排水系統、公共下水道との排水上の関連及び排水施設の管理計画について記載すること。

- ①排水施設（側溝、暗渠排水管等）
排水施設の規格毎の数量を表示、排水計算書を添付すること。
- ②防災調整池（箇所数及び容量）
河川課と協議した防災調整池の設計計算書を添付すること。

(9) 汚水排水計画

排水計画人口（算定基礎を明確に）、計画汚水量（1人1日平均汚水量、1人1日最大汚水量、時間最大汚水量）、汚水排水系統、終末処理施設（排除方式、排除施設の構造、処理回数、除去率（BOD〇〇ppm）、放流先、放流水域の水質汚濁、許容限度、利水権者の同意、汚水処理施設の管理計画等）について記載すること。（汚水排水計算書及び利水権者の同意書を添付すること。）

※該当する汚水排水施設があれば記載すること。

(10) ごみ処理計画

ごみ処理の方法及び管理方法について記載すること。

- ①建設中及び発電事業中のごみ処理について記載すること。
- ②発電事業を継続することとしていた場合でも、発電事業を終了する場合のパネル等のごみ処

理について記載すること。

※発電能力が無くなった施設を放置すること無く適切に処理する計画となっていること。

(11) 給水施設

水源（地下水、表流水、公共上水道等を明確に）、取水地点、取水量、取水方法、給水方法、計画給水量（1人1日最大給水量、1人1日平均給水量、時間最大給水量）等について記載すること。

※該当する給水施設があれば記載すること。

(12) 公共施設・公益施設

用途、規模、配置、管理方法等について記載すること。

※該当する施設があれば記載すること。

(13) 自然環境保全計画

自然緑地、造成緑地の管理者、管理方法（枯損樹木等の手入れ、殺虫、除草）について記載すること。

①自然緑地等の管理者及び管理方法（開発中、完了後）を記載

②造成森林の樹種、樹高、1ha当たり植栽本数

(14) その他の事項

2(1)～(13)以外の計画について記載すること。（例えば、温泉のさく泉計画、交通計画、騒音防止計画等）

①周辺住民への配慮事項（施設配置や工事中の配慮、簡易水道や農業用水の確保等）

②希少動植物等への配慮対応（自主アセス実施状況等）

③FIT認定事業期間後（20年後）の方針（継続 or 終了）及び発電事業終了後の跡地計画について記載すること。（借地は必ず記載すること）

図 面 作 成 要 領

番号	図 面 名	縮 尺	明 示 事 項	備 考
1	開 発 区 域 位 置 図	1/50,000	区域を赤線で明示すること。	
2	公 図 写		開発区域の明示、公道、水路等の着色	
3	現 況 図	1/2,500 以上	地形、開発区域の境界、開発区域内及び開発区域周辺の公共施設を明示すること。	
4	現 況 写 真		現況図との位置的関連を明示すること。	カラーとする。
5	求 積 図	1/2,500 以上	開発区域全体の求積表、区域内緑地部分の求積表	全体面積は三斜計算、他はプランメーターでもよい。
6	土 地 利 用 計 画 平 面 図	1/2,500 以上	開発区域の境界、公共施設の位置、形状、予定建築物の敷地の形状、敷地に係る建築物の用途、公益的施設の位置及び形状、方位等	
7	造 成 計 画 平 面 図	1/2,500 以上	開発区域の境界、切土、盛土をする土地の部分、防災施設の位置、道路の位置、工区界等（断面図との関連で切線を明示のこと。）	色別（例） 自然緑地：濃緑 造成緑地：薄緑
8	造 成 計 画 断 面 図	1/2,500 以上	切土、盛土をする前後の地盤面（上図の断面切線の部分を作成）（ゴルフ場の場合は、コースごとの縦横断面図）	
9	が け の 断 面 図	1/50 以上	がけの高さ、勾配及び土質、地質の厚さ、切土又は盛土をする前の地盤面並びにがけ面の保護方法（切土2m以上、盛土1m以上、切、盛同時2m以上）	
10	擁 壁 の 断 面 図	1/50 以上	擁壁の寸法、勾配、材料の種類及び寸法、裏ごめ石、基礎杭の位置、水抜穴の位置、内径、擁壁を設置する前後の地盤面、基礎地盤の地質	擁壁の安定計算を別に添付のこと。
11	雨 水 排 水 施 設 計 画 平 面 図	1/2,500 以上	排水区域の区域界、排水施設の位置、種類、排水系統、調整池の位置、呑吐口の位置、放流先の名称	
12	給 水 ・ 施 設 計 画 平 面 図	1/1,000 以上	給水施設、給水系統、消火栓の位置	11 に編入してもよい。
13	汚 水 排 水 施 設 構 造 図 及 び 排 水 系 統 図	1/50 以上 1/2,500 以上	終末処理施設の平面図、横断面図、基礎構造の形状、寸法、流末水路の形状、寸法、断面図を明示のこと。（水利計算書を別に添付のこと。）	

14	植栽計画図	1/2,500 以上	自然緑地の植生状況及び造成緑地の植栽計画	
15	道路計画 縦断図	1/500 以上	都市計画道路及び既設道路との関係、緩和曲線部の明示、主要下水管との関係	
16	道路横断図	1/100 以上	路面、路盤、幅員、側溝、法面勾配、法長の形状寸法	
17	防災計画 平面図	1/1,000 以上	工種の名称、標示、形状、寸法	
18	建築物立面図	1/200 以上	予定建築物（クラブハウス、レジャー施設等）の立面図	